

図画工作 6年「学校の授業における学習活動の重点化」年間指導計画参考資料

資料のご活用にあたって

・本資料の配当時間数は、開隆堂出版株式会社ホームページにて公開しています「年間指導計画(案)」で示している配当時間のうちの最も長い時間数を設定しております。指導計画の作成に当たっては、各学校での実態に合わせて時間数をご検討ください。

① 題材名	② ページ 時間数		③ 学習内容	④ 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑤ ③の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑤の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑧ ③の教材に係る配当時間数を除いた、学校の授業が必要な時間数
感じたままに花	8・9	4	見たものや想像したものの形や色、印象をもとに、自分なりのかき方で、絵に表すたのしさを感じ取り、心地よさを味わう。	○教科書に掲載されている参考作品例を見て、よさや美しさ、面白さについて考える。 ○見たものや想像したものから、表したい花を考える。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して、よさや美しさ、面白さについて考えておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・思い浮かべたり考えたりしたことをアイデアスケッチにかくなどして、自分が表したいことをある程度考えておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(1)			2.5
わたしのお気に入りの場所	10・11	6	自分にとってなじみのある身近な場所から気に入った場所を選び、改めてよく観察し、その場所への思いを表すため、自分の感じたことを大切に表し方を工夫して絵に表す。	○教科書に掲載されている参考作品例を見て、よさや美しさ、面白さについて考える。 ○自分の生活や身のまわりを見つめ、大切なお気に入りの場所を思い浮かべる。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して、よさや美しさ、面白さについて考えておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・思い浮かべたり考えたりしたことをアイデアスケッチにかくなどして、自分が表したいことをある程度考えておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(1)			4.5
なぞの入口から…	12・13	2	「入口」という言葉から、どんな所への入口か想像を広げ、入口の向こうの世界への思いをもって粘土で立体的に表す。	○「入口」という言葉から思い浮かべたり想像したりすることについて考える。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、思い浮かべたり想像したりしたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)			1.5
布や枝のコンサート	14	6	布や枝などの特徴を感じながら、イメージを広げて表したいことを形にする。	○布や枝などの特徴について考える。	・事前に教科書の掲載作品例を見たり、材料を用意して触れたりして布や枝の特徴について考えておくことは、学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)			5.5
白い物語	15	2	身のまわりの白い材料を集め、白さや手触りの違いを味わいながら、思いついた活動をする。	—	—	※共同してつくりだす活動を想定しているため、指導時期の検討が必要。		2
墨のうた	16・17	4	墨独特のかき心地のよさや、ぼかし、にじみ、かすれ、軌跡などを楽しみながら、自分らしい表現を見つけ表す。	○墨と水と用具でいろいろな表現ができることを知る。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、使えそうな身のまわりの材料を探してみるなどすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	※墨の表し方などを示範する際は、モニターを活用するなど、児童を集合させないようにする。		3.5
動き出すストーリー	20・21	6	いろいろな動く仕組みのおもしろさを感じ取り、動き方からイメージを広げてつくりたいものを発想してつくる。	○「リンク機構」と「クランク機構」の動く仕組みについて知る。 ○動く仕組みからイメージを広げ、表したいおもちゃを考える。	・事前に教科書の作品掲載例を見て、動く仕組みについて大まかに知ることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	○友だちの作品を互いに遊びながら、動きの面白さや工夫のよさに気づく。	0.5	5.5
強くてやさしい組み木パズル	22・23	8	切り込みを入れて木を組む接合方法を使って板材を中心に用いて立体的に表す。	○かきつぎ(切り込みを入れて組む接合方法)の技法を知る。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、接合の技法を大まかに知ることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	○クラスみんなで協力し合い、部品をつなげて組み立てる。	0.5	7.5

① 題材名	② ページ 時間数		③ 学習内容	④ 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑤ ③の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑤の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑧ ③の教材に係る配当時間数を除いた、学校の授業が必要な時間数
クローズアップで見える新世界	24・25	6	身近な場所の小さな部分に注目し、デジタルカメラで接写した画面の形や色の特徴から感じたことや想像したことから思いを広げて絵に表す。	○教科書に掲載されている写真はどんな場所の何をクローズアップした写真なのかを想像する。 ○身近な場所の小さな所に注目して、感じたことや想像したことから表したいことを考える。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、気づいたことを書きとめておくなどすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・授業で撮った写真をもとに、思い浮かべたり考えたりしたことをアイデアスケッチにかくなどして、自分が表したいことをある程度考えておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(1)			4.5
白の世界	26・27	6	軽さや耐久性に優れ、造形的な可能性も高い軽量紙粘土や液体粘土などを使い、思いのままに形ができる楽しさを味わいながら、自分の想像の世界を表す。	○軽量紙粘土や液体粘土などを使って表したい世界を思い浮かべる。 ○表したい世界をもとに、どんな材料を組み合わされるか考える。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、使えそうな身のまわりの材料を集め、組み合わせ方を試してみるなどすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・思い浮かべたり考えたりしたことをアイデアスケッチにかくなどして、自分が表したいことをある程度考えておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(1)			4.5
はさみと紙のハーモニー	28	4	身のまわりにある紙をはさみで自由に切ってコラージュすることを楽しみ、切った紙を並べたり、組み合わせたりしながら発想を広げ、はり絵に表す。	○身のまわりにある紙をはさみで切ってコラージュで表す活動について知る。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、身のまわりにある紙を探してみるなどすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)			3.5
おどる光、遊ぶかげ	29	2	電球やLEDライト、プロジェクターなどを使って、色セロハンやお花紙、和紙などの身近な材料と組み合わせ、面白い光や影の世界をつくり出す活動をする。	—	—	※共同してつくりだす活動を想定しているため、指導時期の検討が必要。		2
形と色でショートチャレンジ 形と色が動き出す！	30・31	2	パターン(型紙)を使い、形や色の繰り返し、複数の画面の変化や動きをとらえて絵に表す。	○パターン(型紙)を使うと同じ形を複数繰り返しかかと、動きを表現できることを知る。 ○変化したり動いたりするお話を思い浮かべる。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、パターン(型紙)を使った表現をもとに、思い浮かべたり想像したりしたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)			1.5
見つけたことを話してみよう	32-34	2	絵画作品をよく見て、絵の中から見つけたことや感じたこと、想像したことなどを友だちと話し合う。	○絵画作品を鑑賞して、感じたこと、見つけたこと、想像したことなどを書きとめる。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して、感じたこと、見つけたこと、想像したことなどを書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	○互いの見方や考え方、発想の面白さや楽しさについてグループで話し合う。	0.5	1.5
写して見つけたわたしの世界	35-37	6	スチレンボードの特徴を生かして身のまわりの材料の型押しやボードの分解・再構成などで版をつくって版画に表す。	○スチレンボードの特徴を生かした版画に表す活動について知る。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、使えそうな身のまわりの材料を探してみるなどすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)			5.5
わたしはデザイナー12さい の力で	38・39	8	板材や角材をもとに、用途や仕組みを考えて使って楽しむ入れ物をつくる。	○板材や角材をもとに、何かを入れて使って楽しむものをつくる活動について知る。 ○だれが、いつ使うのか、どんな材料か、どんな方法でつくるのかなどの構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、工夫しているところなどを見つけるなどすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・思い浮かべたり考えたりしたことをアイデアスケッチにかいたり、言葉で書きとめたりなどして、自分が表したいことをある程度考えておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(1)			6.5

① 題材名	② ページ 時間数		③ 学習内容	③ 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	④ ③の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑤ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑥ ⑤の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑦ ③の教材に係る配当時間数を除いた、学校の授業が必要な時間数
伝え方をたのしもう	40・41	8	「だれに・何を・どのように」伝えるかをグループで話し合いながら考え、伝えたいことの内容に合った表し方を工夫し、発表したり友だちや地域の人たちとかかわり合ったりすることを楽しむ。	○「だれに・何を・どのように」伝えるかを考える。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、だれに、何を、どのように伝えるかを考えておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	○「だれに・何を・どのように」伝えるかをグループで話し合い、協力して表す。 ○発表したり友だちや地域の人たちとかかわり合ったりすることを楽しむ。	4	7.5